



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月9日

上場会社名 近畿車輛株式会社

上場取引所 東

コード番号 7122

URL https://www.kinkisharyo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 守宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 長島 努

(TEL) 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,186	34.7	△235	—	208	—	190	—
2022年3月期第1四半期	5,336	△53.0	△237	—	△248	—	△252	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △4百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 868百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第1四半期	円 銭 27.68	円 銭 —
2022年3月期第1四半期	△36.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	59,641	24,263	40.7	3,526.06
2022年3月期	61,496	24,474	39.8	3,556.63

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 24,263百万円 2022年3月期 24,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当予想額は未定でございます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	28.0	△100	—	△200	—	△200	—	△29.06
通期	37,000	△5.9	1,000	△44.3	700	△67.9	700	△74.7	101.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,908,359株	2022年3月期	6,908,359株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	27,073株	2022年3月期	27,008株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,881,321株	2022年3月期1Q	6,881,559株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8
3. その他	P. 9
生産、受注及び販売の状況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）における業績は、売上高が71億8千6百万円（前年同四半期売上高53億3千6百万円）と前年同四半期と比べ18億4千9百万円の増収となりました。営業損失は2億3千5百万円（前年同四半期営業損失2億3千7百万円）と前年同四半期と比べ2百万円の損失の減少となりました。経常利益は2億8百万円（前年同四半期経常損失2億4千8百万円）と前年同四半期と比べ4億5千7百万円の増益となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億9千万円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失2億5千2百万円）と前年同四半期と比べ4億4千3百万円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

東京地下鉄株式会社向電車、東京都交通局向電車及び京都市交通局向電車等により、売上高は69億8千5百万円（前年同四半期売上高51億3千5百万円）と前年同四半期と比べ18億4千9百万円の増収となり、営業損失は1億4千8百万円（前年同四半期営業損失1億4千8百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は2億1百万円（前年同四半期売上高2億円）となり、営業利益は1億7千5百万円（前年同四半期営業利益1億7千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は596億4千1百万円（前連結会計年度末614億9千6百万円）と18億5千4百万円の減少となりました。流動資産は主に売掛金の回収により、427億5千万円（前連結会計年度末449億8千6百万円）と22億3千6百万円の減少となりました。固定資産は、168億9千1百万円（前連結会計年度末165億9百万円）と3億8千1百万円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は353億7千8百万円（前連結会計年度末370億2千2百万円）と16億4千4百万円の減少となりました。流動負債は主に短期借入金の減少により、277億7千5百万円（前連結会計年度末327億5千3百万円）と49億7千7百万円の減少となりました。固定負債は主に長期借入金の増加により、76億2百万円（前連結会計年度末42億6千8百万円）と33億3千3百万円の増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は242億6千3百万円（前連結会計年度末244億7千4百万円）と2億1千万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,940	8,418
受取手形、売掛金及び契約資産	18,329	16,889
仕掛品	14,933	16,198
原材料及び貯蔵品	525	628
その他	1,279	638
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	44,986	42,750
固定資産		
有形固定資産	10,891	11,485
無形固定資産	157	151
投資その他の資産		
投資有価証券	5,166	4,973
その他	302	289
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,460	5,254
固定資産合計	16,509	16,891
資産合計	61,496	59,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,325	7,784
短期借入金	15,700	8,700
1年内返済予定の長期借入金	2	—
未払法人税等	32	50
契約負債	1,609	4,060
賞与引当金	377	79
製品保証引当金	577	726
受注損失引当金	2,594	2,015
その他	2,532	4,357
流動負債合計	32,753	27,775
固定負債		
長期借入金	—	3,000
退職給付に係る負債	2,880	2,772
その他	1,387	1,829
固定負債合計	4,268	7,602
負債合計	37,022	35,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	14,653	14,637
自己株式	△105	△105
株主資本合計	22,925	22,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,201	1,076
為替換算調整勘定	428	351
退職給付に係る調整累計額	△81	△73
その他の包括利益累計額合計	1,548	1,354
純資産合計	24,474	24,263
負債純資産合計	61,496	59,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,336	7,186
売上原価	4,705	6,600
売上総利益	631	585
販売費及び一般管理費	868	820
営業損失(△)	△237	△235
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	54
為替差益	—	444
雑収入	4	6
営業外収益合計	51	505
営業外費用		
支払利息	42	10
為替差損	13	—
支払手数料	—	35
雑支出	7	16
営業外費用合計	62	62
経常利益又は経常損失(△)	△248	208
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△248	208
法人税、住民税及び事業税	3	11
法人税等調整額	0	6
法人税等合計	3	17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252	190
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△252	190

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△125
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	1,069	△77
退職給付に係る調整額	8	8
その他の包括利益合計	1,121	△194
四半期包括利益	868	△4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	868	△4
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首より、米国会計基準を適用する在外連結子会社において、ASC第842号「リース」を適用しております。

これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。本基準の適用に当たっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において固定資産の「有形固定資産」が731百万円、流動負債の「その他」が309百万円、固定負債の「その他」が449百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,135	—	5,135	—	5,135
その他の収益	—	200	200	—	200
外部顧客への売上高	5,135	200	5,336	—	5,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,135	200	5,336	—	5,336
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△148	174	25	△263	△237

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△263百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△263百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	鉄道車両 関連事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,985	—	6,985	—	6,985
その他の収益	—	201	201	—	201
外部顧客への売上高	6,985	201	7,186	—	7,186
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,985	201	7,186	—	7,186
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△148	175	26	△261	△235

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△261百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△261百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	8,071	106.2
合計	8,071	106.2

②受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	6,935	184.1	118,481	140.4
合計	6,935	184.1	118,481	140.4

③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	6,985	136.0
不動産賃貸事業	201	100.2
合計	7,186	134.7

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

以 上